

News Release

報道関係各位



2026年4月7日

株式会社アドバンスト・メディア

AI アシスタントが建設現場のスムーズな情報共有と業務効率化を支援 建設業界向け新プラットフォーム「AmiVoice® B-Work One」4/9より提供開始 ～AI 音声認識 AmiVoice®×生成 AI により、建設現場のコミュニケーションを革新～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、AI アシスタントが建設現場におけるスムーズな情報共有と業務効率化を支援する新プラットフォーム「AmiVoice B-Work One（アミボイス ビーワーク ワン）」の提供を4月9日（木）より開始いたします。

AI 音声認識 AmiVoice®×生成 AI 建設業界向け新プラットフォーム

AmiVoice® B-Work One



国土交通省の調査^{※1}によると、建設業界では55歳以上が36.7%を占めるなど、急速な高齢化と労働人口の減少が進み、人手不足が深刻化しています。加えて働き方改革による時間外労働規制が適用され、生産性向上と業務効率化の重要性が一段と高まっています。こうした労働環境の変化により、関係者間のやり取りや情報調整の負荷がこれまで以上に増え、コミュニケーションの効率化や情報共有・意思決定の迅速化が喫緊の課題となっています。

そのような中、アドバンスト・メディアは、国内シェア No.1^{※2}のAI 音声認識 AmiVoice と生成 AI を活用し、建設現場のコミュニケーションを支援する新プラットフォーム「AmiVoice B-Work One」を開発しました。本プラットフォームは、建設現場におけるさまざまな情報を集約し、ユーザーが必要とする情報に素早くアクセスできる環境をAI アシスタントが提供することで、情報共有・意思決定の迅速化と業務効率化を同時に実現します。

「AmiVoice B-Work One」は、複数の協力会社を工種ごとに整理し、チャット上でコミュニケーションをとることが可能です。また、AI アシスタントがチャット履歴を参照してユーザーの質問に回答し、必要な情報への迅速なアクセスを実現します。

さらに、「AmiVoice B-Work One」のユーザーは、アドバンスト・メディアが提供する既存の建設業界向けアプリケーションをより便利かつ安価に利用することが可能です。

【「AmiVoice B-Work One」特長】

1. 協力会社を工種ごとに整理し、チャットでのコミュニケーションが可能

「電気工事」や「設備工事」など、工種ごとにグループを作成し、複数の協力会社とチャットによる情報共有が可能です。チャット上では図面や資料などのファイルの共有・編集も可能なため、関係者間の円滑なコミュニケーションを実現します。



「工種別のグループ一覧」



「協力会社別のチャット一覧とチャット画面」

2. AI アシスタントが、チャット履歴の要約・タスク抽出・質問への回答を実施

AI アシスタントがチャット履歴の要約やタスク抽出などを行い、現場の情報整理をサポートします。また、「この業者の納品日はいつ?」「この項目の費用は?」などの質問に対して、過去のチャット履歴から関連情報を検索して回答することも可能です。さらに、ユーザーの指示に応じて現場で想定される危険要因や注意点を提示し、KY（危険予知）リスト作成の参考情報として活用できます。作業内容の確認や進捗把握、安全対策の検討など、現場の業務に合わせて AI アシスタントが柔軟にサポートします。



「AI アシスタントによる関連情報の検索と抽出」

3. アドバンスド・メディアの建設業界向け一部有料アプリ・機能を追加費用なしで利用可能

「AmiVoice B-Work One」のユーザー限定で、当社が提供する既存の建設業界向けアプリケーションをより安価かつ便利にご利用いただけます。

・スケジュールと議事録をシームレスに連携

「AmiVoice B-Work One」の「スケジュール」画面から、ユーザーの予定や現場全体の予定を確認・共有することが可能です。また、スケジュールに登録された会議情報と、当社の議事録作成支援サービス「AmiVoice スーパーミーティングメモ」をシームレスに連携し、議事録の作成・参照を大幅に効率化します。

「AmiVoice スーパーミーティングメモ」は、建設・不動産向け音声認識エンジンを搭載しており、専門用語を含む会議中の発言を高精度にリアルタイムで全文テキスト化することが可能です。また、建設業界向けにプロンプトを最適化した AI 要約により、会議内容の迅速な整理・把握を支援します。

加えて、ファイル共有機能では最新の図面や工程表などのファイルをアップロードし、任意の関係者のみに公開することが可能です。スケジュールや会議内容とあわせて情報を共有することで、適時適所で最新情報を確認でき、現場全体の情報共有を円滑にします。

・仕上げ検査結果の共有、協力会社からの是正完了報告を Web 上で実現

建築検査アプリ「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム（仕上げ検査）」の協力会社連携機能を強化し、「AmiVoice B-Work One」ユーザー限定で提供します。

従来、協力会社ごとに自動仕分けを行った帳票データをユーザー自身がファイル出力し、メールで送付していました。本機能強化により、「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム（仕上げ検査）」の管理画面で生成した共有用の QR コードや URL を「AmiVoice B-Work One」のチャット上

へワンクリックで共有できるようになり、スムーズな情報共有を実現します。
さらに是正状況のステータスについて、従来の「完了」「未完了」に加え、新たに「要確認」「確認済み」を追加しました。協力会社の是正作業だけでなく、ゼネコンの確認状況も明確になり、確認漏れの防止や作業工程の可視化を支援します。

・写真管理アプリとマウスアプリを追加費用なしで利用可能

建設工事全般の写真管理アプリ「AmiVoice 写真 TORUZO (トルゾー)」と、マウス機能に AI 音声認識 AmiVoice と生成 AI を連携したアプリ「AmiVoice トークマウス」を、「AmiVoice B-Work One」ユーザー向けに無償で提供します。「AmiVoice トークマウス」のオプション機能である生成 AI を活用した校正・推敲・要約機能も、追加費用なしでご利用いただけるほか、画像やメモの転送件数も制限なくお使いいただけます。現場業務や日々の業務効率化を支援するツールとしてご利用いただけます。

【販売価格】

基本利用料 (1TB) : 13,200 円 (税込)、1ID : 月額 1,100 円 (税込)
ストレージ追加 500GB : 5,500 円 (税込)

アドバンスド・メディアでは、「AmiVoice B-Work One」に蓄積される建設現場の多種多様なデータを、情報資産として活用することを目指しています。将来的には、蓄積されたデータを活かして、AI が自律的な判断や提案を行う機能の可能性を探りながら、段階的に高度化を進めてまいります。

また、AI 音声認識 AmiVoice と生成 AI を組み合わせた研究開発を継続し、建設現場の DX 推進を図るとともに、当社のビジョンである、人が AI 技術により能力を高める「AISH (AI Super Humanizing)」の実現を目指してまいります。

■「AmiVoice スーパーミーティングメモ」について

会議や打ち合わせの発言を音声認識で即時テキストにすることで、議事録作成の業務負担を軽減し効率化を図ることができるクラウド型の議事録作成サービスです。話者の発言はスマートデバイスのアプリを通してテキスト化されます。

単語登録機能や独自の音声認識エンジンを活用することで、「揚重計画(ようじゅうけいかく)」「有効空地率(ゆうこうくうちりつ)」など、建設業界独自の用語も正しく変換することができます。発言内容はテキスト化と同時に録音もされるため、Web ブラウザから検索による発言の絞り込みや重要発言のマーキングができ、認識結果の編集・管理・保存が簡単に行えます。また Microsoft Word への出力、議事録の一括送信など、議事録作成をサポートするさまざまな機能を備えています。

<https://amivoice-super.com/MM/>

■「AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム」について

国内シェア No.1^{※2} の AI 音声認識 AmiVoice を搭載し、検査業務の効率化を実現する iOS 端末用建築検査アプリです。高精度な AI 音声認識を活用し現場でのデータ入力を飛躍的に高速化し、建築現場で圧倒的な業務効率向上を実現しています。現在、配筋検査・配筋写真管理・建築仕上げ検査の 3 種類のラインアップをご提供しています。

<https://www.advanced-media.co.jp/products/service/amivoice-super-inspection-platform/>

■「AmiVoice 写真 TORUZO」について

画像認識・文字認識・音声認識を活用し、「配筋写真管理」「施工状況管理写真」「材料受け入れ写真」「安全書類用写真」など、建設工事全般の写真の撮影や整理にかかる時間を大幅に削減するアプリケー

ションです。音声認識を用いた音声コマンド撮影機能や、現場での撮影漏れを防止する各種機能、写真へのタグ付け・検索機能など、写真の撮影・整理に欠かせない機能を搭載し、直感的な操作で工事写真台帳を作成することができます。

<https://amivoice-super.com/toruzo/>

■「AmiVoice トークマウス」について

iPhone や iPad などの iOS 端末の画面をタッチすることで、Windows PC のマウス・キーボード操作を代替し、外出先でもスマートな PC 操作を可能にする革新的なアプリケーションです。国内シェア No.1^{※1}の AI 音声認識 AmiVoice を用いて、iOS 端末に話しかけるだけで簡単に音声入力を行うことができ、入力結果は PC 上のエディタエリアに表示されます。

さらに、外出先など PC が手元にない場合でも、iOS アプリ上に音声入力によるメモを残すことが可能です。PC が利用可能なタイミングで iOS 端末の画面をタップすることで、メモの内容を簡単に PC へ転送することができます。また、オプションとして生成 AI を活用した校正・推敲・要約機能もご用意しており、よりスムーズな文章作成をサポートします。

<https://www.advanced-media.co.jp/products/service/talkmouse/>

※1 出典：国土交通省「最近の建設産業行政について」（令和 7 年 9 月発表）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/001566406.pdf>

※2 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2025」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997 年 12 月

資 本 金： 69 億 3031 万円 (18,392,724 株) (2025 年 12 月末現在)

事 業 内 容： ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国) と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1 (出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2025」) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コンタクトセンター、建設・不動産、製造・物流などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係

経営推進本部 広報グループ

・ TEL : 03-5958-1307